

現在の日本の英語教育に缺落するところありと、最近思ふ。友だちに聞くと義務教育の中において、英語の授業は最低六年ありと言ふ。日本人の多くは英語を読み解くことは容易なれども、話すに難澁することあるが如し。英語は日本人にとりて外國語なれば、發音悪しからむとも、たゞたゞしからんとも、全く恥ぢ入るべき事ならず。日本語を流暢に話す外國人最近は多く見られるれども、發音微妙に違ひたるとも恥ぢることなく會話す。英語は海外にて共通語になりつつあり、日本政府は英語を小學校低學年より始めんと決斷したるが、外國語を幼少期に覚えさせるは意義見られず。いはゆるネイティブの英語に近きものにするが目的と思はるれど、中學校にて十分その目的は達せらる。母國語の能力低き時に、何故に外國語を優先せんとすや、意味不明なり。まづは母國の言語をこそ學ぶの要あり。

それがしは義務教育の殆どを海外にて授かる。小學校の半分はフランス、中學校は米國。歸國後、我が日本語能力低く、自らのアイデンティティ不明確になり、一年ほど言葉を失ひしたるかの如く、日本語の會話拒否せる時期もありたり。かくのごとき者に英語を早くより勉強せぬ方が良しと言はるるも不可解と思ふ人多かれど、米國の學校においておぼつかぬ英語にて話させられしは、日本の色々なる事なりき。一九六〇年初頭、日本はまだ米國人にとりては未知の東洋なれば、木と紙にて建てられたる家に住んでをるや、丁髷を結つてをるやなど、とてつものなき奇怪なる質問ばかりにて、説明するも難儀なりき。かくのごとき幼稚なる質問にても、しつかりと説明するを得ずば、自國の事も話せぬ阿呆なる日本人なりと思はる。これこそ恥づべき事にて、外國語が巧みなりや否やは問ふ所に非ずと、十代の頃に思ひ知らされき。

従ひて、自國の事を十分に勉強してより、外國語を習得すべしと吾は覺ゆ。中學校後半より始めんとも十分なりと確信したり。

(平成二十八年五月二十日受附)